

令和6年度 被災者支援総合交付金「心の復興」事業
交付可能額（団体別）

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
1	地域と世代を越えた心の身体復興事業	一般社団法人ちろる	身体機能や認知機能の低下予防に加えて、外出のきっかけ作り、他者との交流機会を増やす機会として、定期的な運動教室を開催。被災者自身の健康向上と被災者同士のつながりにより、地域の中での孤立を防ぐ。	福島県内(避難先地域の二本松市と避難元地域の浪江町等相双地区)及び山形県、茨城県	3,493
2	参加型の心と体の健康イベントやワークショップによる地域活性化事業	一般社団法人PSJ	宮城県および岩手県の被災地域において、心と身体の健康増進を目的とした参加・体験型イベントの実施により、子どもから高齢者まで広範囲にわたる参加者の生きがい作りや、世代間交流によるコミュニティーの再生・創出に寄与する。また、学生や若い世代が主体となって開催する、食と体操等による「心と身体の健康プログラム」作りのワークショップをもとに、被災地域の若い世代・社会人・高齢者との世代間交流と地域活性化を図るとともに、これからの地域活性化を担う世代の、地域交流活動へのより一層の参画に寄与する。これらの事業全体を通し、より広範囲なネットワークの構築、更に持続可能な取組への発展を目指す。	宮城県名取市(閑上地区・美田園地区)・石巻市・登米市・南三陸町及び岩手県盛岡市・釜石市・花巻市・上閉伊郡大槌町等の広域	3,482
3	宇宙特産品創生による心の復興と大規模対外発信による風評払拭	一般財団法人ワンアース	「東北復興宇宙ミッション」の成果として、宇宙飛行した記念品(花や農産物の種等)から地域自慢の品が創出されつつある。地域ワークショップで、被災者らとともにこの活動をさらに推進し、「シオモの月」を一般販売している。さらに、これらを内外に強くアピールするため、仙台で開催される「全国都市緑化仙台フェア」等に出席する。 本事業には被災地域の次世代を担う多くの子供たちが参画し、ノウハウの蓄積、地域愛と交流の醸成を行い、オール東北でこの成果を持続的に活用できるようにする。 また、事業を推進していく中で、子どもたち青少年と地域の高齢者との協働・交流が生まれることから、被災地の高齢者の孤立を防ぐとともに、被災地域の住民の世代間交流の創出にもつながるものとしていく。	岩手県洋野町・大槌町・宮城県気仙沼市・七ヶ浜町、福島県福島市・楡葉町などを中心とした43市町村	3,495
4	心と体とまちの栄養復興プロジェクト	特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット	被災地域の住民と大学生が主体となって、ものづくりワークショップの企画運営を行う「まちづくりエーション」と、被災地のスーパー店舗等で健康チェック及び展示ブースを行う「健康IKO隊」の2つの取組を行う。もの作りと世代間交流、健康増進に関する正しい知識の獲得を通じたによる生きがいづくりを目的とする。被災住民と学生による主体的活動を促し、将来の地域医療をも見据えた活動を実践する。	福島県いわき市・福島市・富岡町・宮城県仙台市・岩沼市	3,498
5	傾聴活動による心のケア、「コミュニティ形成」「伝承」事業	特定非営利活動法人仙台傾聴の会	被災者支援「心のケア」としての「傾聴カフェ」「傾聴箱庭カフェ」の継続。今年度から「音楽カフェ」を再開する。「革ブローチ作成」、「ちぎり絵」「折り紙」「フラワーアレンジメント」を住民同士のコミュニケーションの場を介し、習得する事業を実施。各事業毎にアンケートを取りながら、住民が自主的に物づくりに励み生産性ある豊かな生活スタイルを得られる方向性を検討する。	宮城県仙台市・名取市・岩沼市・亶理町・山元町・七ヶ浜町・福島県南相馬市	3,468

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
6	震災で引きこもりがちな高齢者のためのコミュニティづくり事業	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	復興住宅では(感染症の流行もあって)住人が顔を合わせる機会が激減し、高齢者の孤立化が進んでおり、これら高齢者に向けて「懐かしい昭和時代」をテーマに当時の映像や生活道具を通し、高齢者同士が共通の話題で会話をし、参加者同士がお互いを知ることで絆を深め、新しい友人を作ることにより、今後の楽しみを提供できる場とする。	岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、塩釜市、仙台市	3,498
7	映画文化によるコミュニティ形成事業	みやこ映画生活協同組合	災害公営住宅は高齢、単身者の入居が多く孤立を深めるケースが増えており、特にコロナ禍以降は集会所でのイベント等も少なくなり、集会所利用者も固定されている例が多い。通常のサロン等に参加されない(特に男性など)被災者が、気軽に参加できる「映画」というツールによる、被災者同士、被災者と地域住民との交流を促す場を提供。参加者同士の楽しい時間の共有による「心のケア」、企画段階から関わることで「生きがいづくり」、参加者の交流の場づくりからの「コミュニティ形成」、外にできるきっかけづくり「ひきこもり・孤立防止」として、【映画の上映会+上映企画(話し合い)+交流(お茶っこサロン)】を開催する。	岩手県野田村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、宮城県気仙沼市、石巻市、福島県南相馬市	2,731
8	避難者相談と生活再建のためのコミュニティ維持・強化事業	沖縄じゃんがら会	単身の避難者やひとり親家庭の避難者等では実現が難しい自然体験やキャンプ等の年間を通じた交流会を実施。避難者同士のピアサポートの強化や避難者と地域住民が新たな繋がりを構築する機会を提供する。 また、年2回(1回は3.11前後)に、「こころの相談会」を開催。公認心理士によるワークショップや個別相談を実施、避難者の不安の解消や心のメンテナンスを行う。不定期開催の弁護士相談会では、ADR相談や近隣トラブル・相続などの法的手続きの相談を受け付け、避難者の不安解消や生活基盤の安定を図る。	・沖縄県全域	3,473
9	福島一山形 空と土の交流広場事業2024	特定非営利活動法人育空保育たけの子	被災者の放射能に対する考え方の違いにより、被災地(福島県)に「留まっている人」、避難先から福島県に「帰還した人」、現在も「避難している人」など様々である。立場の違いによるお互いの心の分断の解消を図るため、山形県米沢市と福島県で、気軽に参加できる「親の会」を開催。カルチャー教室や音楽交流会等を実施する。 また、福島市において、土作りを中心に野菜作りを行う食農教室、米沢市において週末の親子活動を行う野外施活推進支援を通年で実施する。	福島県福島市周辺地域(支援対象者居住地域)・山形県米沢市周辺地域	2,588
10	孫世代によるオンライン高齢者支援「愛のマゴの手」プロジェクトの広域展開	特定非営利活動法人心の架け橋いわて	被災3県の高齢者を対象に、大学生のオンライン個別支援により、心身のフレイル(虚弱化)予防、孤立・孤独対策、自主的なICT利活用支援を実施。 岩手県での先行的活動により、孫世代と祖父母世代との隔世世代間交流「愛のマゴの手」プロジェクトが両者の相互理解を深め、震災記憶の風化対策に通ずることが実証できていることから、同活動を被災3県に広域展開する。	岩手県盛岡市、大槌町、宮城県石巻市、福島県南相馬市	2,608

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
11	多世代協働による『食づくり・ものづくり』ハッピープロジェクト	ハッピープロジェクト	被災者の方が、生きがいをもって幸せに歳を重ねることを目的に、災害公営住宅を始めとした被災者の方を対象とし、被災者の方が、子ども・大学生・若者・高齢者・障がい者といった様々な世代との多世代協働による、ともに汗をかき楽しみながら行うハーブ・農作物づくり等の「食づくり」、育てたハーブを活用したアロマづくり等の「ものづくり」、パネル展示等による「風化防止」、主体的に地域で活躍できる「人づくり」に取り組む。	宮城県名取市(関上復興住宅ほか)・仙台市、福島県二本松市・南相馬市・相馬市・浪江町、神奈川県横浜市、相模原市	3,500
12	浜通り地域からエンターテインメントによる新しい魅力を発信事業	トモダチプロジェクト	発災後10年間継続してきた、福島県浜通りの被災地の子どもたちと東京の子どもたちが歌とダンスで繋がりあう取組を継続して実施する。浜通りの子どもたちと東京の子どもたちを中心に、コロナ禍でのオンラインの取組経験も活かしながら、歌やダンスのレッスンの機会を提供し、年2回(福島、東京)の発表の場を設ける。また、双方(福島・東京)の地域文化を伝える講師を招いての交流プログラムを企画、実施する。	・福島県南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町 ・東京都杉並区 他日本各地域	3,399
13	思い出の品生きがい・つながり創出事業	一般社団法人三陸アーカイブ減災センター	新たな生きがいづくり、心の復興につなげることを目的として、被災者やその家族・親戚、遺族が、津波で持ち主がわからなくなった写真や物品(思い出の品)を介して、自身や家族、友人や知人の写真を見つけ、届ける、知らせるといった機会と場を創出する。 また、懐かしい思い出に触れたい被災者と地域住民が主体となって、震災前の陸前高田のまちの写真を見ながら語り合う、住民主体のカフェサロンを同時に開催し、震災前の話を語り合える「みんなの居場所」を提供する。同時にオンライン環境を構築し、途切れることがないつながりづくり、心のケア、孤独・孤立防止を目指す。	・岩手県盛岡市、北上市、陸前高田市内各所 ・宮城県仙台市 ・東京都(飯田橋)	3,500
14	東北発の連携形成による被災者主体の震災伝承と防災体制強化、震災学習の推進	公益社団法人3.11メモリアルネットワーク	祈念公園周辺で、地域団体や行政との連携による地域全体での来訪者の受け入れ体制づくりを通じ、被災者自らが生きがいを感じながら東日本大震災の記憶や教訓を後世へ伝承する機会を創出する。 避難の訓練や街の記憶聴き取りを通じ避難住民の繋がりを回復させる。 岩手・福島 of 祈念公園、周辺施設と連携し、被災者主体の震災伝承と避難体制の強化・防災活動を推進し、将来にわたり、災害から命を守り継続可能な体制づくりに取り組む。	宮城県石巻市および岩手県、福島県復興祈念公園と周辺地区	3,500
15	ダンスで日本を元気に！東北復興ダンスプロジェクト	二十一世紀倶楽部	被災地の子どもたちを中心に、ダンスのレッスンと発表の機会・場所を提供。この取組を生きがいづくりの場としていく他、被災地の方が主体、主役となって地域の魅力や活力を発信できる機会を創出する。	岩手県宮古市、山田町、大槌町、金石市、久慈市 福島県相馬市	3,467

No.	事業名	提案団体名	取組内容	対象地域	交付可能額(千円)
16	首都圏・広域避難者の自主的な『活力増進と風化防止』プロジェクト	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	被災者の状況はコロナ禍により大きく変化し、避難者自身が自発的に広域で交流活動ができるよう、行動喚起を進めていく必要がある。他県の避難者(同じ経験を持ち課題を抱える)、支援者、市民も交えた仲間づくりを目的に、地域を超えたコミュニティ「ふるさとサポーターズ」の推進活動を更に進め、「活力増進」の支援(各種講座、教室、交流会)、震災の教訓を防災に生かす風化防止活動(語り部活動)の取り組みを継続して行う。特に、各種講座、教室などは避難者が企画から運営までを実施する自発的な活動を一層促していく。	東京都・埼玉県・神奈川県・福岡県・千葉県・山形県	7,804
17	被災した女性の対話と就労支援を通じた交流と学習の場づくり	一般社団法人トナリノ	被災した女性を中心に「子育て」や「働く」をテーマとした話し合いの「交流の場づくり」を実施。 また、語り継ぎたい被災地域の習わしや風土などを記録に残すため、記事の書き方等を学ぶ「学習の場づくり」を提供、語り継ぎたい記憶等を記事にして記録していくことで、被災者同士の話し合いや学び合いを通じて、生きがいを見つけ、心の復興を目指す。	岩手県陸前高田市、大船渡市、宮城県気仙沼市、釜石市、住田町	3,340